SOMPO ホールディングス | Innovation for Wellbeing

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

交付運用報告書

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）／ Ｂコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年７月18日～2019年７月16日

第21期　決算日：2019年 7 月16日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

各ファンドは、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、各ベンチマーク（Ａコース：MSCIコクサイ インデックス（100％為替ヘッジ）・Ｂコース：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第21期末　2019.7.16	Ａコース（為替ヘッジあり）	Ｂコース（為替ヘッジなし）
基準価額	9,936円	13,832円
純資産総額	1,657百万円	2,095百万円
騰落率※	4.1%	2.3%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。
なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用報告書（全体版）の閲覧方法

https://www.sjnk-am.co.jp/
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント
東京都中央区日本橋二丁目２番16号　共立日本橋ビル
お問い合わせ先：クライアントサービス第二部
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）
0120-69-5432

基準価額の推移

Aコース（為替ヘッジあり）

第21期首	騰落率	第21期末
基準価額 9,549円	4.1% （分配金再投資基準価額ベース）	基準価額 9,936円 （期中分配金合計0円）

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

Aコース（為替ヘッジあり）

実質的な投資対象である損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が上昇したことにより、当ファンドの基準価額が上昇しました。なお、当ファンドは為替をヘッジしているため、保有外貨建資産に対する為替変動の影響は受けませんでした。

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド

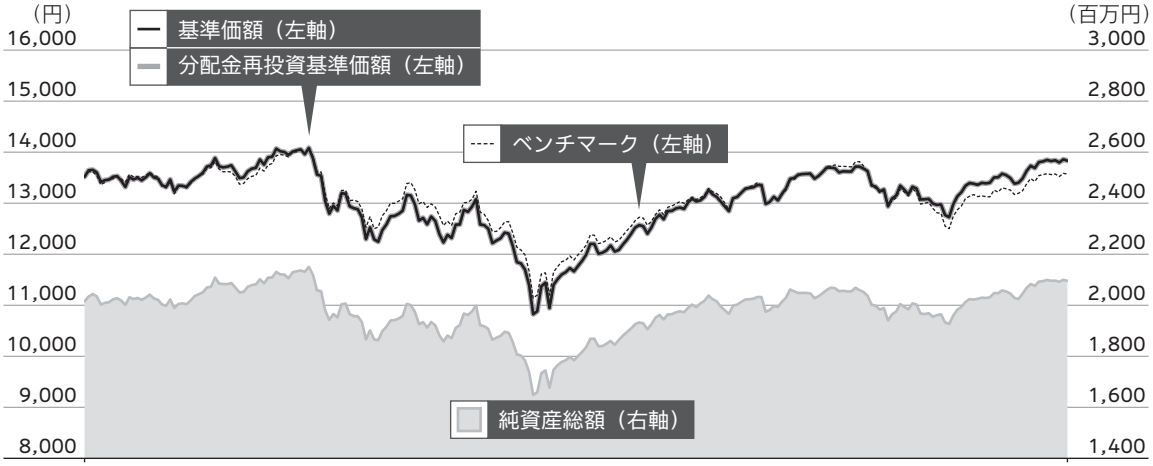
期中の騰落率は＋4.8%となりました。
ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド

基準価額の推移

Bコース（為替ヘッジなし）



第21期首

基準価額
13,516円

騰落率

2.3%
（分配金再投資基準価額ベース）

第21期末

基準価額
13,832円
（期中分配金合計0円）

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

Ｂコース（為替ヘッジなし）

実質的な投資対象である損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が上昇したことから、当ファンドの基準価額が上昇しました。

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド

期中の騰落率は＋4.8%となりました。
ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド

1万口当たりの費用明細

Aコース（為替ヘッジあり）

期中の１万口当たりの費用の割合は 2.176% です。

項目	第21期 2018.7.18～2019.7.16 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	**189円**	**2.046%**	**(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 期中の日数／年間の日数** **期中の平均基準価額は9,229円です。**
（投信会社）	（ 94）	（1.023）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 84）	（0.915）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 10）	（0.108）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	**6**	**0.068**	**(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数** **有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料**
（株式）	（ 5）	（0.058）	
（投資信託証券）	（ 1）	（0.011）	
(c) 有価証券取引税	**1**	**0.008**	**(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数** **有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金**
（株式）	（ 1）	（0.008）	
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）	
(d) その他費用	**5**	**0.054**	**(d)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数**
（保管費用）	（ 4）	（0.043）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（0.008）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.003）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	**201**	**2.176**	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

Bコース（為替ヘッジなし）

期中の１万口当たりの費用の割合は 2.176% です。

項目	第21期 2018.7.18～2019.7.16 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	**267円**	**2.046%**	**(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 期中の日数／年間の日数** **期中の平均基準価額は13,029円です。**
（投信会社）	（133）	（1.023）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（119）	（0.915）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 14）	（0.108）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	**9**	**0.068**	**(b)売買委託手数料＝ 期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数** **有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料**
（株式）	（ 8）	（0.058）	
（投資信託証券）	（ 1）	（0.011）	
(c) 有価証券取引税	**1**	**0.008**	**(c)有価証券取引税＝ 期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数** **有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金**
（株式）	（ 1）	（0.008）	
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）	
(d) その他費用	**7**	**0.054**	**(d)その他費用＝ 期中のその他費用／期中の平均受益権口数**
（保管費用）	（ 6）	（0.043）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（0.008）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.003）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	**284**	**2.176**	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

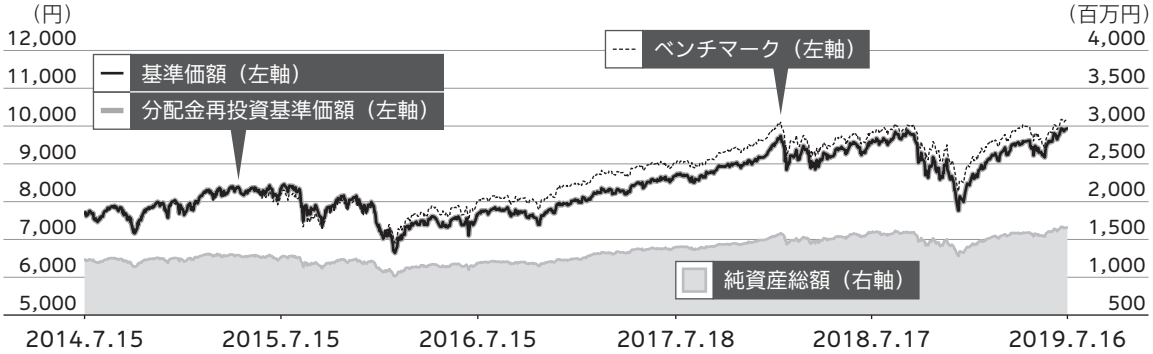
注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

2014.7.15～2019.7.16

Aコース（為替ヘッジあり）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2014年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

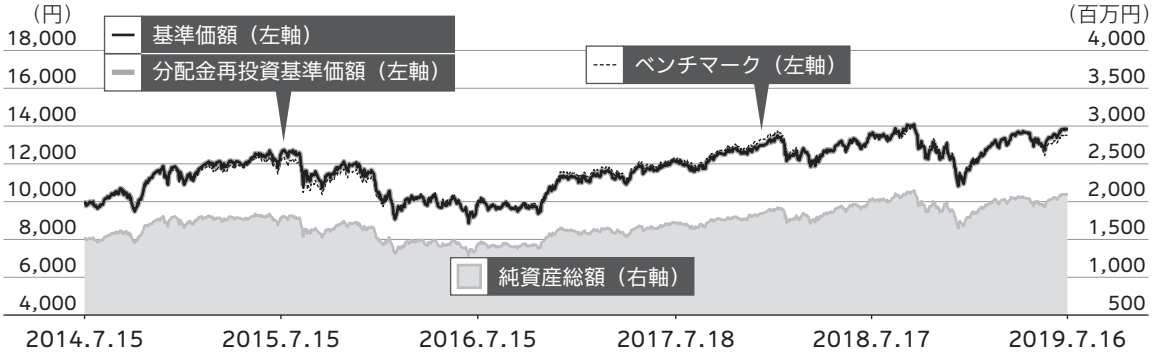
決算日		2014.7.15 決算日	2015.7.15 決算日	2016.7.15 決算日	2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日
基準価額	（円）	7,707	8,361	7,681	8,693	9,549	9,936
期中分配金合計（税引前）	（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	8.5	△ 8.1	13.2	9.8	4.1
ベンチマーク騰落率	（%）	－	6.6	△ 2.2	12.5	8.3	3.9
純資産総額	（百万円）	1,232	1,266	1,188	1,397	1,588	1,657

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）です。

指数に関しての詳細は25ページをご参照ください。

2014.7.15～2019.7.16

Bコース（為替ヘッジなし）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2014年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2014.7.15 決算日	2015.7.15 決算日	2016.7.15 決算日	2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日
基準価額	（円）	9,940	12,524	9,949	12,133	13,516	13,832
期中分配金合計（税引前）	（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	－	26.0	△ 20.6	22.0	11.4	2.3
ベンチマーク騰落率	（%）	－	22.4	△ 17.2	21.8	9.7	0.4
純資産総額	（百万円）	1,516	1,785	1,443	1,717	2,015	2,095

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）です。

指数に関しての詳細は25ページをご参照ください。

投資環境

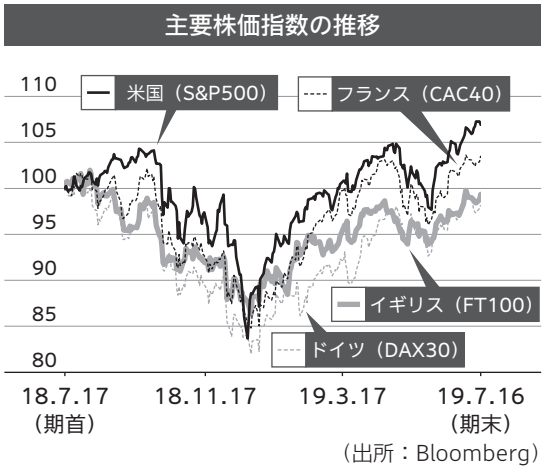
○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。

堅調な経済指標や企業決算等を背景に株価は上昇基調で推移していましたが、2018年10月に米中貿易摩擦激化等を背景に下落しました。

グローバル景気の減速懸念が高まる中、予算案をめぐる議会対立を背景に米国政府機関が一部閉鎖したことと等が嫌気され、株価は年末にかけてさらに急落しました。

株式市場の急落を受け、2019年の年明けにFRB（米連邦準備理事会）が利上げの一時停止を表明すると株価は上昇基調に転じました。



注．期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

５月には中国やイランとの地政学リスクが嫌気され下落する場面もありましたが、FRBが利下げ姿勢に転じたこと等を背景に株式市場は市場最高値を更新しました。

○欧州株式市場

欧州株式市場は小幅に上昇しました。

期初から米国との貿易対立激化等を背景に下落基調で推移し、巨額の政府債務残高を抱えるイタリア政府とECB（欧州中央銀行）との予算案をめぐる対立の深まりや、フランスで経済改革に対する大規模抗議活動が発生したこと等が嫌気され、2018年末にかけてさらに下落しました。

2019年の年明けには米国で利上げ観測が後退したこと等を背景に反転し、３月にECBが緩和的な金融政策の継続を発表したことや、４月に英国のEU（欧州連合）離脱延期が決定されたこと等が好感され、株価は上昇しました。

５月には米中貿易摩擦激化を背景に下落しましたが、世界的な金融緩和姿勢を受け上昇して期末を迎えました。

○アジア株式市場

アジア株式市場はほぼ横ばいでした。

トルコリラの急落をきっかけに新興国からの資金流出懸念が高まったこと等を受け、期初から下落基調で推移していましたが、2018年10月に中国の景気減速懸念が広がったこと等を背景に株価は大きく下落しました。

11月以降は横ばいで推移していましたが、2019年の年明けに米国や中国で緩和的な金融政策が発表されると、株価は反転しました。

米中貿易摩擦懸念の高まりを受け株価が急落する場面もありましたが、各国で景気浮揚策が発表されたことや、世界的な金融緩和姿勢を背景に資金流入期待が高まったこと等を受け株価は上昇し、下落分を取り戻しました。

主要株価指数の推移

（出所：Bloomberg）

○為替市場

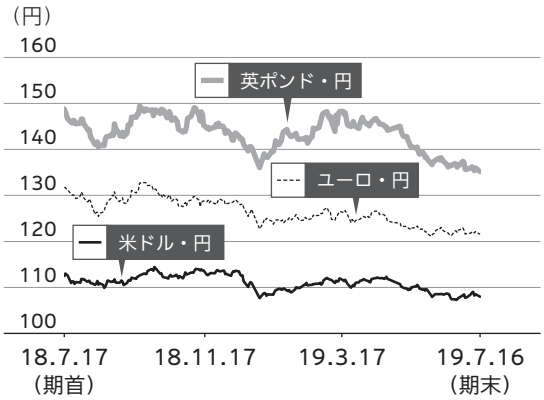
当期の為替市場は円高が進みました。

米ドルに対しては、2018年末に米国政府機関の一部閉鎖を背景とした株式市場の急落を受け、リスクオフの展開から円高が進行しました。株式市場が持ち直すと円安に傾く場面もありましたが、米中貿易摩擦激化やFRBによる金融緩和期待が高まったこと等を受け円高ドル安が進みました。

ユーロに対しては、各国の政治リスクの高まりや、ECBが緩和的な金融政策の維持を発表したこと等を受け、円高ユーロ安が進みました。

ポンドに対しては、英国のEU離脱をめぐる見通しの不透明さ等を背景に、円高ポンド安が進みました。

為替レートの推移



（出所：Bloomberg）

注．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

当該投資信託のポートフォリオ

Aコース（為替ヘッジあり）

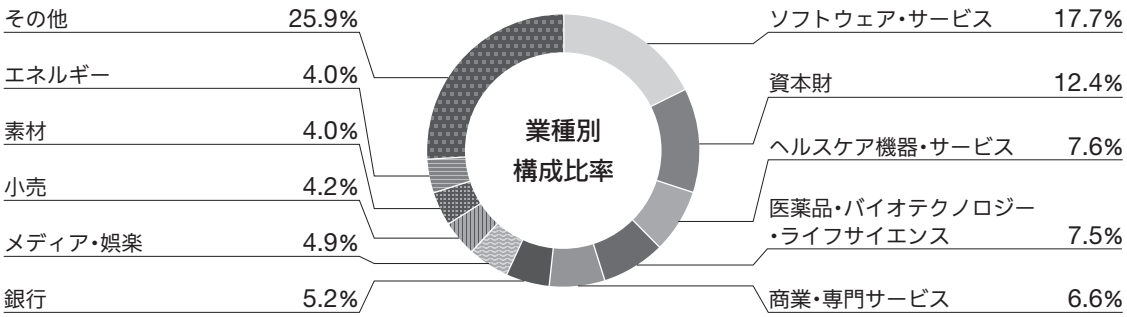
期を通して、損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は97.4％です。また、実質外貨建資産については為替ヘッジを行っています。

Bコース（為替ヘッジなし）

期を通して、損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は96.7％です。

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、96.7％です。



注１．比率は、第21期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注２．端数処理の関係上、構成比合計が100％とならない場合があります。

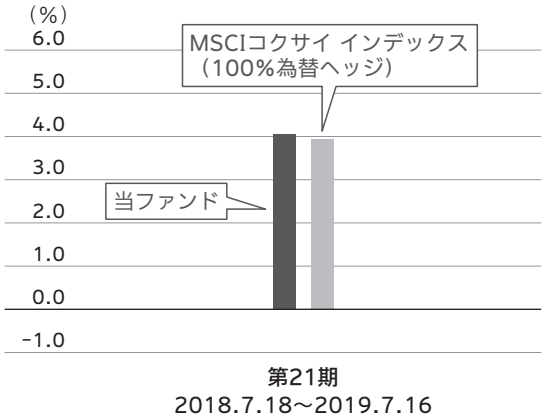
当該投資信託のベンチマークとの差異

Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイインデックス（100%為替ヘッジ））の騰落率（+3.9%）を0.1%上回りました。

米国のオーバーウェイト等の地域配分や、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

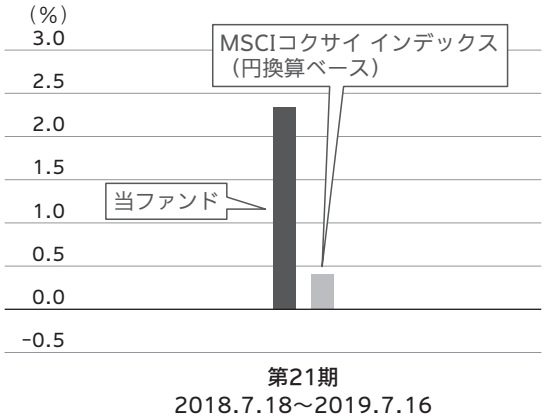


Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（＋0.4%）を1.9%上回りました。

米国のオーバーウェイト等の地域配分や、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（＋0.4%）を4.4%上回りました。

米国のオーバーウェイト等の地域配分や、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

Aコース（為替ヘッジあり）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳　（単位：円、１万口当たり・税引前）

項目	第21期 2018.7.18～2019.7.16
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,956

注１．「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注２．円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注３．当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

Ｂコース（為替ヘッジなし）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳　（単位：円、１万口当たり・税引前）

項目	第21期 2018.7.18～2019.7.16
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	9,084

注１．「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注２．円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注３．当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

Aコース（為替ヘッジあり）

引き続き「損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、原則として実質外貨建資産については100％為替ヘッジを行います。

Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き「損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、同コースについては原則として為替ヘッジを行いません。

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド

外国株式については、米国を中心に企業業績は堅調であり、今後もその傾向は継続するものと見ています。その一方で、米中の貿易戦争が懸念材料であり注視していく必要があります。引き続き高い成長と安定したキャッシュフローが見込める企業に注目しています。

当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

お知らせ

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式ファンドＡコース（為替ヘッジあり）
損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式ファンドＢコース（為替ヘッジなし）

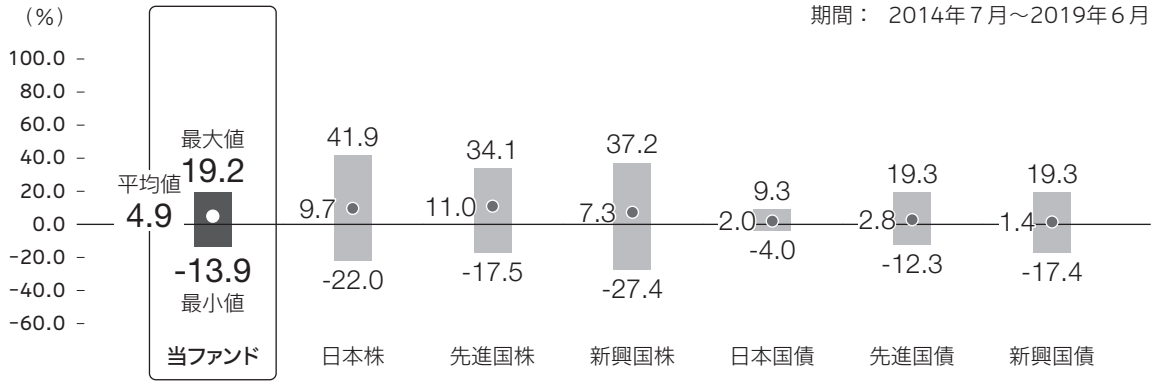
受益者の利益に資すると考え、投資信託約款の「受託者の自己または利害関係人等との取引」の追加等の変更を行いました（2019年７月１日）。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	**損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式ファンド** **Ａコース（為替ヘッジあり）／Ｂコース（為替ヘッジなし）** 「損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド」受益証券
	損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
運用方法	① 日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。 ②「Ａコース（為替ヘッジあり）」 MSCIコクサイ インデックス（100％為替ヘッジ）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 「Ｂコース（為替ヘッジなし）」 MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 ③ 各ファンドのマザーファンドである「損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド」の運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用の指図に係る権限を、米国のTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

Aコース（為替ヘッジあり）



＊ 上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊ 各資産クラスの指数

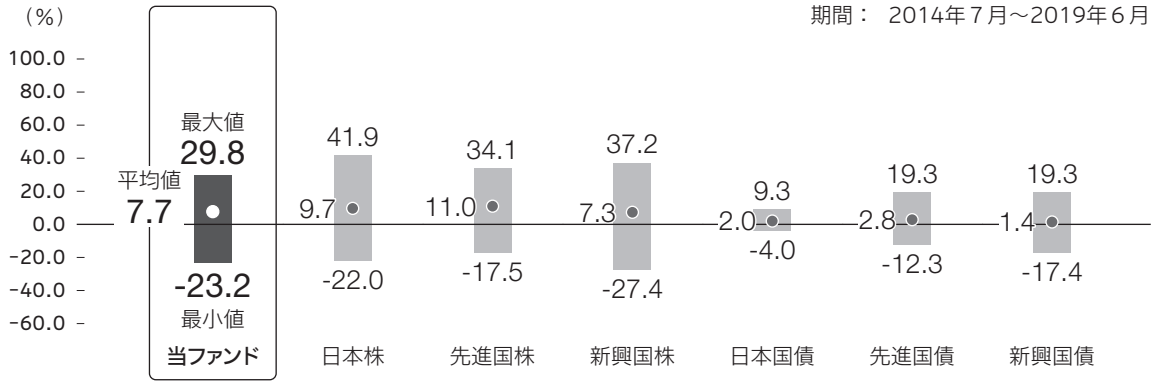
日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関しての詳細は25～26ページをご参照ください。

Bコース（為替ヘッジなし）



＊ 上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊ 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関しての詳細は**25～26ページ**をご参照ください。

Aコース（為替ヘッジあり）

当該投資信託の組入資産の内容

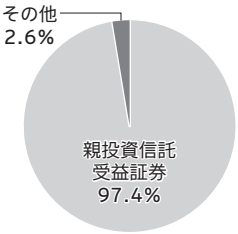
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第21期末 2019.7.16
損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド	97.4%

注．比率は第21期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分

通貨別配分

注．比率は第21期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第21期末 2019.7.16
純資産総額	1,657,806,980円
受益権総口数	1,668,440,375口
１万口当たり基準価額	9,936円

※ 当期中における追加設定元本額は264,443,391円、同解約元本額は259,965,232円です。

Bコース（為替ヘッジなし）

当該投資信託の組入資産の内容

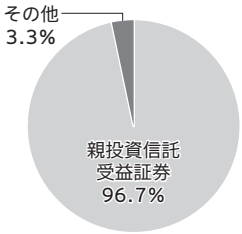
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第21期末 2019.7.16
損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド	96.7%

注．比率は第21期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分

通貨別配分

注．比率は第21期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第21期末 2019.7.16
純資産総額	2,095,581,108円
受益権総口数	1,515,000,690口
１万口当たり基準価額	13,832円

※ 当期中における追加設定元本額は273,589,677円、同解約元本額は249,800,122円です。

組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド

基準価額の推移

● ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2018年７月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

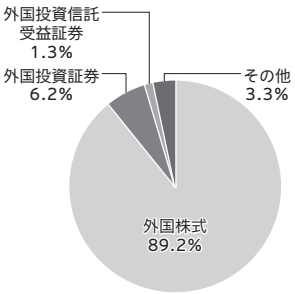
１万口当たりの費用明細

項目	2018.7.18～2019.7.16	
	金額	比率
売買委託手数料	**14円**	**0.070%**
（株式）	（12）	（0.059）
（投資信託証券）	（ 2）	（0.011）
有価証券取引税	**2**	**0.008**
（株式）	（ 2）	（0.008）
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）
その他費用	**9**	**0.047**
（保管費用）	（ 9）	（0.044）
（その他）	（ 1）	（0.003）
合計	**25**	**0.125**
期中の平均基準価額は20,032円です。		

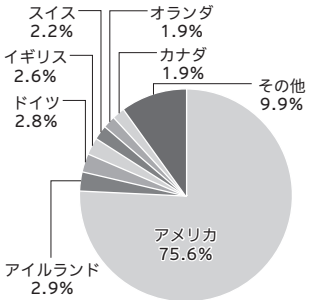
組入上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.5%
3	TRANSUNION	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%
4	ROPER TECHNOLOGIES INC	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%
5	WASTE CONNECTIONS INC	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	カナダ	1.9%
6	BAXTER INTERNATIONAL INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%
7	TRADE DESK INC/THE -CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%
8	MASTERCARD INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%
9	HEICO CORP	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	1.6%
10	AMAZON.COM INC	小売	アメリカ・ドル	アメリカ	1.6%
	組入銘柄数		218銘柄		

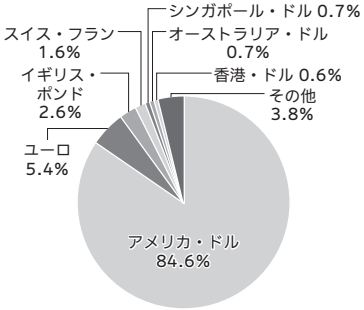
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注１．基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注２．１万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については５ページ（１万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注３．組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2019年７月16日）現在のものです。

注４．比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

指数に関して

当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）およびMSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。
同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

▌東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年１月４日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

▌MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

▌MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

▌NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

▌FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

▌JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

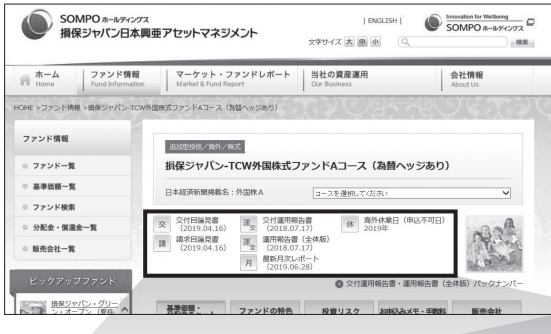
ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式ファンド［　　］コース　検索

それぞれのコースをご入力下さい。

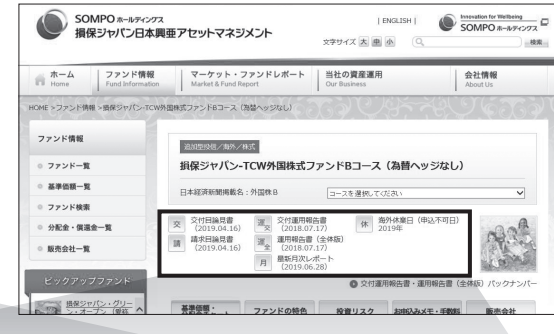
Ａコース（為替ヘッジあり）

https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0874/price.html



Ｂコース（為替ヘッジなし）

https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0875/price.html



各書類の最新版をご確認いただけます。

交　**交付目論見書**
当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交　**交付運用報告書**
当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休　**海外休業日（申込不可日）**
購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請　**請求目論見書**
交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全　**運用報告書（全体版）**
交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月　**最新月次レポート**
当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。